

令和2年度事業報告

I 事業

中小企業のニーズに応え各種支援事業を実施するなど、名古屋市と密接に連携し、公益財団法人として、産業振興施策を推進した。

具体的には、先端技術研究開発の支援やプラズマ技術の産業応用支援に努めたほか、中小企業経営や創業・新事業等に関する相談・研修事業、中小企業の技術者の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等を実施した。

また、指定管理者として、名古屋市中企業振興会館等を管理運営し、利用率の向上に努めた。

さらに、新型コロナウイルス感染症による影響を受けている中小企業に対する支援として、セーフティネット保証認定業務への専門家等の派遣や、新しい生活様式に対応した事業展開や働き方への対応に必要な設備・機器等の導入支援を行った。

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	決算額	49,447千円
---	--------------	-----	----------

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関等に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援した。

なごやサイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・国立研究開発法人理化学研究所

「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」

- ・公益財団法人名古屋産業科学研究所

「SiC単結晶を用いた高精度切削工具の研究開発」

「触覚センサ付きロボットハンドによる加工食品のハンドリングに関する研究開発」

2	プラズマ技術産業応用支援事業	決算額	25,000千円
---	----------------	-----	----------

「プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）」の会員をはじめ、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業に対して、可能性トライアルの実施のほか、名古屋市工業研究所との連携のもと技術相談やテスト処理・分析を行うとともに、地域の研究機関と連携して地域企業の振興に取り組んだ。

また、最新のプラズマ技術及び産業応用事例をテーマにした講演会の開催、メーリングリストによる関連団体のプラズマ関連情報の配信等により、プラズマ技術全般に関する情報提供を行った。

(1) プラズマに関する技術支援

ア プラズマ技術に関する技術相談窓口

名古屋市工業研究所と連携をとりながら、専門的知識・経験を有する職員が企業からの技術相談に対応した。

技術相談 34社 180件

イ テスト処理・分析

企業からの依頼に応じて、プラズマ技術を用いた材料開発や高機能化のための試作を支援した。

機器利用件数 3社 97件

ウ 可能性トライアルの実施

中小企業等のプラズマ技術応用に関する研究開発を企業の経費負担によって行い、技術的課題の解決を図った。

可能性トライアル数 4社 8件

(2) PLAMの運営

会員企業 336社

講演会開催 1回

参加者 68人

3	共同研究事業	決算額	137,309千円
---	---------------	------------	------------------

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の管理運営を行った。

戦略的基盤技術高度化支援事業（※経済産業省の補助事業）

- ・テーマ 「部分的に軟化させたアルミニウム合金板による燃料タンク向け深絞り成形技術の開発」 （平成30～令和2年度事業）
- ・テーマ 「国産木質素材の流動成形による“木材の質感”を備えた高級車車内空間部材の量産化研究開発」 （令和元～3年度事業）
- ・テーマ 「風力削減に風車を用い、削減過程で発電、その電力により回転を自己制御し、風害の発生を防ぐ建材の研究開発」 （令和元～3年度事業）
- ・テーマ 「グラフェン電極を用いた大容量全固体リチウムイオン電池の研究開発」 （令和2～4年度事業）
- ・テーマ 「半導体微細径ワイヤボンドの非破壊瞬時検査方法と自動検査装置の開発」 （令和2～4年度事業）

4	研究開発促進事業	決算額	18,017 千円
---	----------	-----	-----------

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

(ア) 医療・福祉・健康分野

- ・ヒューマンインターフェイス研究会

開催 1回 参加者 35人

(イ) ロボット・ICT分野

- ・名古屋オープンイノベーション研究会 (Nova)

開催 2回 参加者 117人

(ウ) ものづくり技術分野

- ・CAEを活用したものづくり研究会

開催 1回 参加者 64人

- ・ファインバブル技術産業活用研究会

開催 1回 参加者 89人

(設立記念講演会)

(エ) デザイン分野

- ・ものづくりデザインプラットフォーム

講演会 開催 1回 参加者 53人

ワークショップ 開催 1回 参加者 32人

(オ) 先端技術分野

- ・革新的技術講演会

開催 1回 参加者 43人

(2) 医療介護機器等高度化支援事業

- ・ヘルスケアイノベーション推進会議

開催 2回 参加者 42人

- ・医療機器開発チャレンジワークショップ

開催 3回 参加者 43人

- ・介護機器開発チャレンジワークショップ

開催 3回 参加者 29人

- ・医療介護機器等実証評価

評価件数 5社5製品

(3) 技術系スタートアップ企業等支援拠点に係る技術支援業務

名古屋市工業研究所内に令和2年11月に開設された、技術系スタートアップ企業等支援拠点「Nagoya Musubu Tech Lab」において技術支援（技術アクセラレータ）業務を行った。

5	新事業創出支援事業	決算額	6,652,817千円
---	------------------	------------	--------------------

(1) 相談、専門家派遣、創業研修事業等

ア 相談事業

中小企業経営、創業・新事業等を支援するため、中小企業診断士等の資格を有するマネージャーが窓口相談や企業訪問によるアドバイス等を行った。

また、女性向け経営アドバイザーを配置し、女性の創業希望者及び女性経営者等の相談に対応した。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業から施策情報に関する相談や資金調達をはじめとした経営に関する相談が多く寄せられたことから、相談件数は例年と比較して大幅に増加した。

相談企業 1,254社・者

相談等延件数 2,256件

上記のうち、女性向け経営アドバイザーが行った相談件数等は、
女性向け経営アドバイザー

相談企業	73社・者
相談件数	112件

小規模企業経営力強化支援事業の相談件数等は(2)に記載。

イ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣（経営改善・創業・新事業）

経営改善等に取り組む中小企業に対して、中小企業診断士等の専門資格を持つ人材を派遣し、現場で実践的な支援を行った。

派遣企業 96社

派遣回数 260回

(イ) 専門家派遣（工業技術・技能指導）

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者（テクノアドバイザー）として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業 2社

派遣回数 16回

ウ 創業研修事業

創業セミナー

開催日 令和2年11月16日

場所 ナゴヤイノベーションズガレッジ

対象 創業に関心のある方、創業を目指している方等

参加者 29人

内容 創業時に必要な情報や創業の魅力等について

エ 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関（21支援機関）の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議（あいち新事業活動促進連携会議と合同）を開催した。

(2) 小規模企業経営力強化支援事業

小規模企業の生産性向上による経営力の強化を図るため、経営アドバイザー・ITアドバイザーの訪問等による各種相談のほか、小規模企業生産性向上設備投資補助金の認定及び交付事務を行った。

経営アドバイザー・ITアドバイザー

相談企業 164社・者

相談件数 378件

小規模企業生産性向上設備投資補助金

認定件数 46件

交付件数 47件

(3) ビジネスマッチング事業

新事業に取り組む中小企業の販路拡大や事業提携を支援するため、公益財団法人あいち産業振興機構等と共催でビジネスプラン発表会を開催した。

プラン発表企業 2社

発表会参加者 159人

(4) 創業支援施設の入居企業への支援

ア インキュベーションマネージャーによる支援

名古屋ビジネスインキュベータ（nabi/金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi/白金）の入居企業への支援及び誘致を行った。

研修会等の開催 26回

経営相談 995件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを2名配置し、入居者への支援を行った。

イ 創業ルームの設置及び運営

名古屋ビジネスインキュベータ（nabi/金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi/白金）において、小規模区画を創業希望者等に廉価で貸与したほか、名古屋ビジネスインキュベータ（nabi/金山）に女性創業者専用の区画を設け、女性向け経営アドバイザーによる相談支援を行った。

ウ 創業準備ルームの開設及び運営

名古屋ビジネスインキュベータ白金（n a b i / 白金）において、市内での創業予定者に6か月間（※）無料でブースを提供するとともに、マネージャー（創業担当）等による研修及び相談支援を行った。

※第19期は新型コロナウイルス感染症の影響により募集開始時期を順延したため5か月間

第19期・第20期利用者 28人

令和2年度創業者 14人

(5) セーフティネット保証認定申請受付等相談業務

ア 専門家等の派遣

信用保証協会が通常の保証限度額とは別枠で保証を行うセーフティネット保証について、市が実施する認定業務を支援するため、専門家等の派遣を行った。

相談件数 13,727件

派遣延人数 1,087人

イ 土日・祝日の電話相談窓口の開設

新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内中小事業者を支援するため、土日・祝日に経営に関する電話相談を行った。

相談件数 65件

(6) 中小企業の新しい生活様式・働き方対応支援補助金

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施しながら事業展開を行う中小企業者等を支援するため、市内中小企業者に対し、新しい生活様式に対応した事業展開・働き方への対応に必要な設備・機器等の導入に要する経費の一部を助成した。

交付件数 16,072件

6

普及啓発・情報提供事業

決算額

52,428千円

(1) 普及啓発事業

ア 市民向け啓発事業（なごや・サイエンス・ひろば）

市民、とりわけ子ども達に科学技術に対する理解と関心を深めてもらうため、なごやサイエンスパーク内の研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介、科学技術に関するイベント等を行う「なごや・サイエンス・ひろば」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止した。

「なごや・サイエンス・ひろば」の代替として、公社ウェブサイト内になごやサイエンスパークを紹介する専用ページを立ち上げた。

イ 研究成果普及啓発事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの研究者・技術者に向けて研究成果の発表や交流の場を提供することで、研究成果の普及を図るとともに産学行政の連携活動を支援した。

また、なごやサイエンスパークCゾーン（テクノヒル名古屋）内に屋外広告看板及び電柱看板を設置した。

なごやサイエンスパーク連携推進会議の開催	1回	18人
サイエンスカフェの開催	1回	25人

ウ 「ナゴヤファッションコンテスト2020」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日	第1次審査会	令和2年6月30日
	最終公開審査会	令和2年9月17日
場 所	第1次審査会	台東区民会館
	最終公開審査会	デザインホール (ナディアパーク・デザインセンタービル)

応募作品 4,909点（うち海外からの応募作品192点）

来場者 396人（最終公開審査会）

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションセミナーを開催した。

開 催	5回
参加者	243人

(3) 異業種交流グループの活動支援

異なった事業を行う中小企業が、相互に有する技術や市場に関する経験を活かし、技術交流と知識の融合化を促進する場を提供した。

講習会・講演会	12回
優良企業の見学会・交流会	17回
他都市の先端企業の見学会・交流会	1回
会員交流会等	16回

(4) ものづくり技術講演会・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「5G・AI・IoTを活用した新たな価値の創造」をテーマとした、ものづくり技術講演会を開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施した。

ア ものづくり技術講演会

開催日 令和3年2月9日

参加者 95人

イ 工業技術グランプリ

受賞企業 15企業

※ものづくり技術講演会で受賞企業及び受賞事例を紹介

(5) 情報提供・交流フロアの運営

産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料(約4万冊)を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者 1,775人

情報交流フロア利用者 6,028人

7	産業人材育成事業	決算額	40,034千円
---	----------	-----	----------

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

ものづくり人材の育成、熟練技能者の退職に伴う技能継承など、中小企業の技術開発力強化のための研修・実習等を行った。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習

電子回路技術研修など10コース

受講者 92社 109人

イ 中小企業技能者育成講座

熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座

プラスチック射出成形不良対策講座など2コース

受講者 18社 25人

※当初予定していた鉄工技能士1級2級受検対策講座は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会等(ものづくり支援講座6コース)を開催した。

ア 産業用ロボット作業員特別教育講習会

開催 年5回 受講者 69社 111人

※当初予定していた5月期の講習会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ	現場管理者の生産管理技術（トヨタ生産方式）研修		
	受講者	11社	19人
ウ	機械設計図面の見方・読み方研修		
	受講者	15社	32人
エ	機械設計図面の描き方研修		
	受講者	14社	15人
オ	知的財産担当者養成講座		
	受講者	(前期) 4社	6人
		(後期) 3社	4人
カ	機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修		
	受講者	7社	9人

※当初予定していたプラズマ技術の産業応用研修は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(3) 技術経営（MOT）研修

経営の視点から技術戦略を検討する人材育成のため、（公財）科学技術交流財団、（公財）名古屋産業科学研究所と共催でMOT研修（概要版）を実施した。

受講者 53社 73人

8	工業技術情報提供事業	決算額	3,215千円
---	-------------------	------------	----------------

(1) セミナーの実施

開催日 令和2年12月9日
 内容 「災害対策・コロナ対策の計画作りをして事業継続力を強くしませんか？」
 講師 新事業支援センター プロジェクトマネージャー
 仲保 吉正 氏
 参加者 10人

(2) 講演会の実施

開催日 令和3年3月5日
 内容 「サンプルリターン探査機はやぶさ2の軌跡」
 講師 JAXA宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系
 助教 佐伯 孝尚 氏
 「航空宇宙産業へ向けた人材育成活動の紹介」
 講師 中部大学工学部 宇宙航空理工学科
 教授 荻田 丈士 氏
 参加者 57人

(3) 「技術のひろば」の発行

発行 2回 発行部数 各1,500部

(4) 商品展示・カタログ展示

ア 商品展示

展示場所・企業数 ナディアパーク・デザインセンタービル 6社

イ カタログ展示

展示場所・企業数 名古屋市中小企業振興会館 34社

名古屋市国際展示場 (ポートメッセなごや) 34社

名古屋市工業研究所 33社

(5) 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

(6) 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

(7) 賛助員の企業情報を発信

公社ウェブサイトで掲載を希望する賛助員企業を紹介

※参考 賛助員数 255社 (令和3年3月31日現在)

9	経済交流・誘致促進事業	決算額	113,658千円
---	-------------	-----	-----------

(1) 外資系企業の誘致

外資系企業の名古屋進出を促進するため、名古屋市、愛知県、名古屋港管理組合、名古屋商工会議所が共同で設立した「愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター」に職員を派遣し、国、県、名古屋市をはじめ関係機関と連携した活動を行うことにより、外資系企業の誘致を行った。

外資系企業の誘致件数 3件

(2) 見本市・展示会の開催

関係団体と共同で、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市を開催し、地域産業の発表の場、交流の場を提供した。

建設技術フェア2020 in 中部の開催

開催日 令和2年10月14日～15日

場所 吹上ホール

出展者 216社・団体

来場者 13,060人

内 容 国土交通省中部地方整備局と共催で、産学官の技術情報交流の場を提供し、技術開発の現状と方向性、新技術の導入等を紹介

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「第23回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2020～」、「第8回中部ライフガードTEC2020～防災・減災・危機管理展～」及び「第10回次世代ものづくり基盤技術産業展-TECH Biz EXPO2021-」は中止した。

10	関係団体事務受託事業	決算額	3,126千円
----	-------------------	------------	----------------

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

団体名・代表者	助言者	会員数
テクノプラザナゴヤ88 会長 株式会社吉田SKT 代表取締役会長 吉田 由孝	山下 菊丈	29社
テクノプラザナゴヤ001 会長 アサヒ繊維工業株式会社 代表取締役社長 浅井 耕治	名古屋工業大学 准教授 矢野卓真	17社
テクノプラザナゴヤ90 会長 萩原電気ホールディングス株式会社 名誉会長 萩原 義昭	濱田 幸弘	22社
テクノプラザナゴヤ91 会長 複合資材株式会社 代表取締役社長 尾藤 正儀	福田 博行	11社

(2) 各種研究団体

- 中部生産加工技術振興会
- 中部塗装技術研究会
- 中部歯車懇話会
- 中部溶接振興会
- 名古屋テキスタイル研究会
- 日本カム工業会
- 鍍金技術研究会
- 東海無機分析化学研究会

【収益事業等の実施】

1	施設管理附帯事業	決算額	24,000 千円
---	----------	-----	-----------

名古屋市中企業振興会館等の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務や自動販売機の維持管理を行ったほか、催事案内を掲載したイベントカレンダーを作成した。

施設管理附帯事業収益（主なものを掲載）

貸出備品使用料収益	11,597 千円
自動販売機売上等手数料収益	5,479 千円

2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	決算額	32,906 千円
---	-------------------	-----	-----------

名古屋市中企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行った。